2014.10

SRT

取扱説明書

保存用

●：本製品をお買い上げいただきありがとうございました。器具をご使用になる前に必ずお読みの上、正しくご使用ください。また本書はご使用される方がいつでも確認できる様、必ず保管してください。

⚠器具を安全にお使いいただくための取り扱い注意事項

■ 施工上のご注意

- 器具の 施工 には電気工事が必要です。必ず工事店、電気店（有資格者）に依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。
- 器具を取り付ける場所が器具重量及び、保守点検に十分耐えられるか確認ください。強度不足だと火災、感電、落下の原因になります。
- 収納部、壁面及び密閉された場所などでの取り付けで許容温度以上の温度上昇がある場合、LEDの短寿命、不点灯、故障の原因、または電線の劣化など の原因になります。器具との間隔を十分にとり、空気の循環のための放熱穴等を設けてください。
- 器具を並列に取り付ける場合には器具同士の間隔をとってください。熱干渉により照度がおちたり、短寿命、不点灯、故障の原因になります。
- プラグ、コネクタ 接続点や器具コードを引っ張ったり、挟んだりしないでください。破損の上、過熱、火災、感電の原因になります。
- 濡れた手でプラグやコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 冷暖房機器、火気などの上、または近くに器具の取り付けはしないでください。熱により変形、落下、火災の原因になります。
- 器具の改造、分解はしないでください。起動方式の変更、部品追加は禁止です。販売後の改造については保証していません。改造後の事故、不都合については改造、使用者側で対処してください。
- 設置場所によって器具の電磁波でTVやラジオなどの音響、映像機器、OA機器に影響が起きる場合がありますのでご注意ください。雑音が入る場合は器　具を機器から十分に離してください。医療機器についてもご使用の前に必ず確認ください。
- 交換の際は本体ごと交換してください。LED基板、素子単体での交換はできません。

■ ご使用上の注意

- 器具個別の取扱説明書や本体表示を必ずお読みの上、正しくお使いください。間違った使用をすると火災、感電、落下の原因になります。
- 陳列 物照射用、広告灯用器具です。一般家庭 やオフィスにおいて長時間、人に向けて照射する目的に使用しないでください。
- 器具の改造、分解はしないでください。火災、感電、落下の原因になります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。電源電圧が高すぎたり、低すぎると器具内部部品が過熱し焼損したり、LEDの不点灯、短寿命 の原因になります。
- 周囲温度5℃～35℃以内、湿度85%以下の環境で使用してください。この範囲をこえると器具の火災・落下・変色・変形・点灯不良の原因になります。
- 油煙、塵埃の多い場所、振動、衝撃、腐食性ガス、可燃性ガスの影響を受ける場所での使用はしないでください。火災、感電、落下などの原因になります。
- 特殊な用途（医療用、写真撮影用、乗物用、信号用など）に使用しないでください。火災、感電、落下、ノイズによる事故の原因になります。
- 器具に荷重をかけたり、布や紙等の燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災、変形、変色の原因になります。
- 屋内専用器具です。浴室、屋外など湿気、水気のあるところ、雨のかかるところには使用しないでください。感電、漏電のおそれがあります。
- 器具の隙間や穴などに金属類を差し込まないでください。電源部に金属が触れて感電の原因になります。
- 器具に殺虫剤、洗剤などの薬品を噴射しないでください。シンナーなどで拭かないでください。器具の火災、変形、変色の原因になります。
- LEDは発光色や明るさがバラつく場合がありますのでご了承ください。カタログ表記の照度、配光、色温度、消費電力などは参考値であり、その値を保 証するものではありません。目安としてお考えください。
- LEDの寿命について、当製品では点灯初期に測定した光束が70%に低下するまでの総点灯時間とさせて頂きます。これらはあくまで設計寿命であり、この寿命を保証するものではありません

■ 定期点検のおすすめ

- 器具の寿命は使用条件（周囲温度、湿度、電源電圧、点灯時間、汚損・振動など）によって大きく影響されます。一律に規定することは困難ですがLED 部品に限らず器具部品にはそれぞれ寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行している可能性があります。少しでも長く御愛用いただけるように定期的に点検してください。
  また異常が見られた場合は必ず販売店にご相談ください。

■ お手入れの方法について

- 使用条件を守り、適正な使用により故障、事故、火災などを未然に防ぐことができます。またお手入れ、清掃で、より器具の寿命劣化を防ぐことも可能 です。その為にも半年に一度の清掃をおすすめします。
- 清掃、お手入れの際は必ず電源を切っておこなってください。通電状態での作業は感電、故障の原因になります。
- 器具内など電気の通る部分には水、液体、薬品等はつけないようにしてください。
- 外装部分のヨゴレ等は少量の水、または中性洗剤を用いて軟らかい布で軽くふきとってください。乾いた布などで拭くと静電気がおこり、ホコリがつきやすくなります。また、シンナー・アルコールなどは使用しないでください。変形、火災、故障の原因になります。
- 蓄積されたホコリで熱が逃げない場合、火災、事故の原因になります。ハタキ、やわらかいブラシ等でこまめにホコリを落としてください。

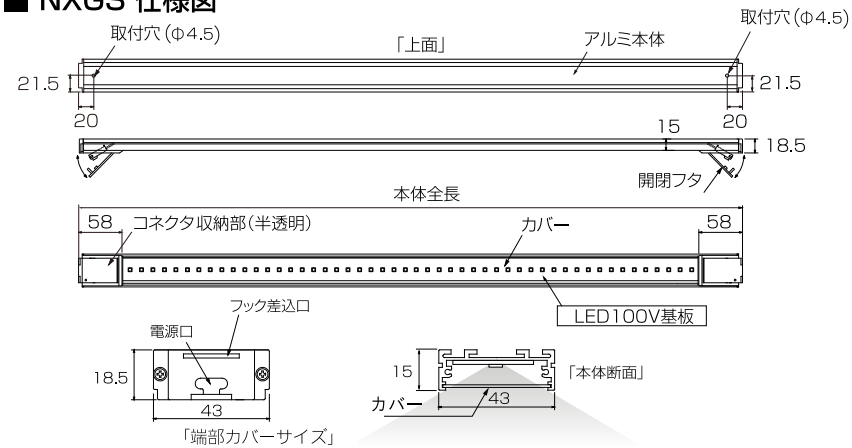
LED100V 棚下照明

NXGS

［陳列物照射用、広告灯用器具］

［製造元］ SRT

■ NXGS 仕様図



NXGS 900 D C

- C：②カバータイプ
- D：①LED光源色
- 900：呼称サイズ
- NXGS：器具記号

①LED光源色

LED色		平均色温度
D	昼光色	6500k
N	昼白色	5000k
※W	白色	4000k
※WW	温白色	3500k
L	電球色	3000k
※L2	電球色2	2700k

※は受注生産品です。発注の際は納期の確認お願いいたします。
※LEDにはバラツキがあるため、発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
（データは平均値を表記しています。）

②カバータイプ

C	透明カバー
N	乳半カバー

■ LED棚下照明　NXGS　（定格 AC100V　50/60Hz）

※器具同士の連結は合計1.2Aまでです。

適用棚（mm）	型　番	本体全長（mm）	素子数（粒）	入力電流（A）	入力電力（W）	連結合計台数（台）
450	NXGS　450□□［受］	410	20	0.06	6.0	20
600	NXGS　600□□	560	30	0.06	6.0	20
750	NXGS　750□□［受］	710	40	0.12	12.0	10
900	NXGS　900□□	860	50	0.12	12.0	10
1200	NXGS　1200□□	1160	70	0.18	18.0	6
1350	NXGS　1350□□［受］	1310	80	0.18	18.0	6
1500	NXGS　1500□□［受］	1460	90	0.18	18.0	6
1650	NXGS　1650□□［受］	1610	100	0.24	24.0	5
1800	NXGS　1800□□［受］	1760	110	0.24	24.0	5

※［受］受注生産品

■ コード接続方法

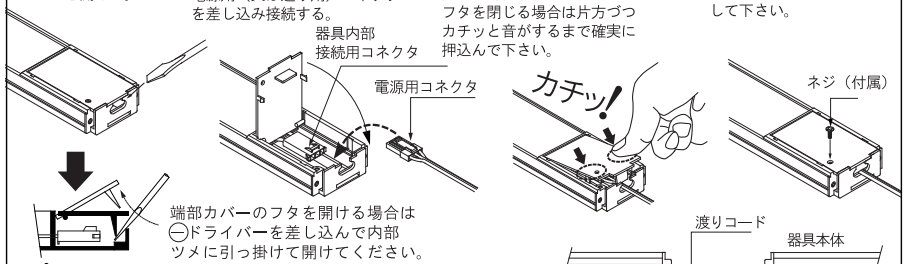
※コネクタを触る場合は必ず電源を切ってください。

①：端部カバーのフタを開ける。

②：器具内部の接続用コネクタに電源用（又は送り用）コネクタを差し込み接続する。

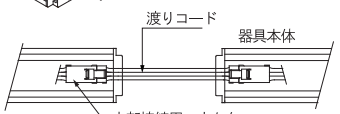
③：コネクタ収納部のフタは開閉防止の為、硬目になっています フタを閉じる場合は片方づつカチッと音がするまで確実に押込んで下さい。

④：端部カバーのフタを閉じた後は必ず付属のネジで固定して下さい。



端部カバーのフタを開ける場合は
㊀ドライバーを差し込んで内部
ツメに引っ掛けて開けてください。

注意 連結の時は電源入力方向の確認を行い、必ず各器具の電流値を確認の上、連結して下さい。合計1.2Ａ以上の連結はしないで下さい。誤った配線をすると故障の原因になります。

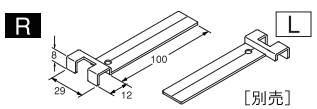


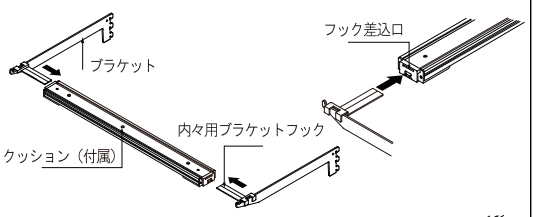
■ 取付施工方法

■：各オプションパーツ（別売）を使用した取付方法です。器具を取付ける場所が器具重量及び保守点検に十分耐えられるか確認して下さい。取付部の強度が弱い場合は補強して下さい。

内々用仕様

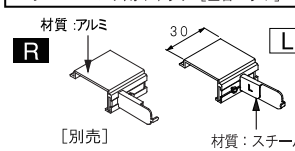
■内々用ブラケットフック［引掛式］［左右セット］BWN６

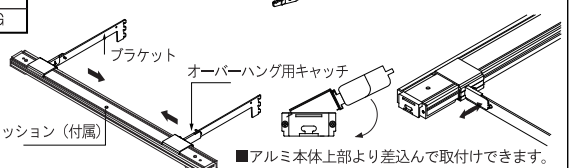




オーバーハング仕様

■オーバーハング用キャッチ［左右セット］BXG



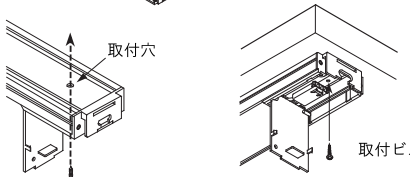


■アルミ本体上部より差込んで取付けできます。

木棚に取付ける場合

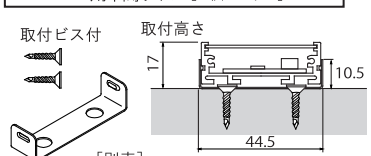
■　取付ビス×２（本体付属）

※器具を木棚等に直付けする場合は端部カバーのフタを開けてアルミ本体の取り付け穴から付属のビスで固定して下さい。



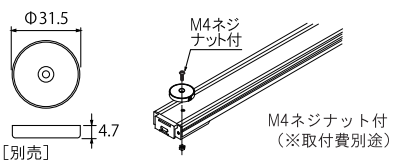
本体を固定する場合

■ＮＸＧＳ用中間サドル［２個１セット］XGC



スチール棚に固定する場合

■　強力マグネット［２個1セット］スチール棚取付用 SMG

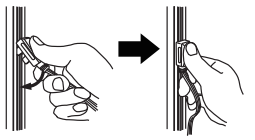


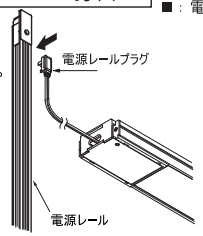
■ 電源入力について

電源入力の前に必ず　入力方向、連結台数（1.2A以内）を確認して下さい。
誤って配線すると器具の故障の原因になります。

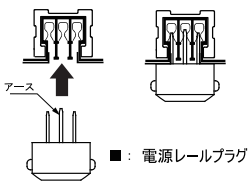
電源レール用プラグ付コードの場合

■：電源プラグを差し込む場合はプラグ頭部を持ってレール溝部分に差し込んでください。最後に手でしっかりと奥まで押込んでください。





■：電源レール断面　■：電源レールにプラグを差し込んだ状態



■：電源レールプラグ

■：電源プラグを抜く場合はプラグ頭部を持ちこじる様にゆっくり金具部分を抜いてください。コード部分だけを持って絶対に外さないで下さい。

注意

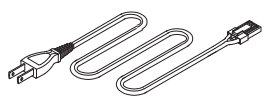
❗：濡れた手でプラグの抜き差しをしないで下さい。漏電・感電の原因になります。

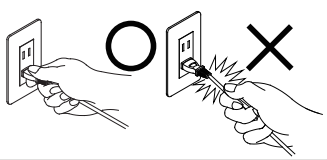
❗：電源プラグを差し込む際、中央のアース刃を中央レールに合わせて、真直ぐに確実に差し込んで下さい。

❗：電源プラグを 電源レール に差し込む場合又、取り外す場合は必ずプラグ頭部を持って取り外してください。コードだけを持って外すとコードの破損、感電の原因になります。

一般プラグ付コードの場合

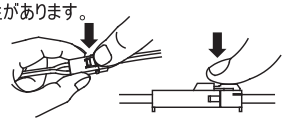
注意 ■ 電源コード・渡りコードをコンセントに差す場合や抜く場合は必ずプラグ及びコネクタ部分を持って行って下さい。コードを持って抜くとコードの切断・感電・漏電の原因になります。



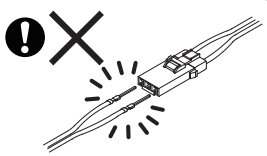


■ 接続用コネクターの外し方

注意 ■器具内のコネクタ接合部を外す場合は必ず電源を切って行って下さい。※図2の箇所を押して確実に外して下さい。コードを引っ張ったり、 接合部に無理な力を掛けると分解、 破損しスパーク（発火）する危険性があります。



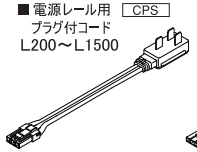
※図2



■コネクタから端子が抜けた場は すぐに使用を中止してください。

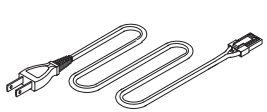
配線パーツ（別売）

■電源レール用 CPS
プラグ付コード
L200～L1500



■ 渡りコード WR
L30～L1500

■一般プラグ付コード DGP
L=1500　L=2500



■ 渡りコード WR
片側カットタイプ　L=2500